

専門総合特別講義Ⅱ

責任者名：藤田 智史(生物学 教授)

学期：後期

対象学年：6年

授業形式等：

◆担当教員

外部講師および学生から依頼を受けた学習指導委員が担当する。

藤田 智史(基礎自然科学分野(生物) 教授)

◆一般目標 (GIO)

歯科医師国家試験に対応するための歯科医学・医療に関する総括的な知識を修得するために、これまで学修した内容を整理する。

◆到達目標 (SBOs)

- ① 歯科基礎医学の知識を応用できる。
- ② 歯科臨床医学の知識を応用できる。
- ③ 社会歯科医学の知識を応用できる。
- ④ 臨床実地科目の知識を応用できる。

◆評価方法

試験による評価は行わない。出席を前提とするため、欠席することのないよう日頃から体調管理を心掛けること。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
藤田 智史	火曜日 17:00~18:00 3号館6階生物学研究室	fujita.satoshi_at_nihon-u.ac.jp _at_は@	外部講師が担当するため、オフィスアワーは教科担当責任者のみ記載してある。 外部講師は講義終了後に質問を受け付けるので、必要に応じて活用し、学修効果の向上に努めること。

◆授業の方法

外部講師および学生から依頼を受けた学習指導委員が講義を行う。

スライド等を用いて講義を行う。また、講義内容を補完するためのプリントが配布される場合がある。講義および復習を通じて知識の習熟を図ること。

講義に関する質問は、外部講師が講義終了後に受け付ける。また、講義内容に関連する学習指導委員も質問を受け付けるので、必要に応じてアポイントをとり、学習効果の向上に努めること。

【実務経験】 外部講師：歯科医師国家試験への対応に特化した教授方法を活かして、歯科医師国家試験の必修、一

般および臨床実地問題に対応可能な知識を習得する場を提供したいと考えている。(専門特別講義Ⅱ)

【実務経験】学習指導委員：臨床系科目教員においては、在職している日本大学歯学部附属歯科病院診療科での経験および各講座において担当している授業経験を、基礎系科目教員においては、各講座において担当している授業経験および研究等で得られた知見を踏まえながら、歯科医師国家試験の必修、一般および臨床実地問題に対応可能な知識を習得する場を提供したいと考えている。(専門特別講義Ⅱ)

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	指定しない。			
参考書 1	令和 5 年版歯科医師国家試験出題基準(厚生労働省監修)			
参考書 2	最新版歯科医師国家試験問題集		指定しない。	
プリント配付				

◆DP・CP

コンピテンス 1：歯科医師としてのプロフェッショナリズム

コンピテンシー：1-3

コンピテンス 2：グローバルマインド

コンピテンシー：2-2

コンピテンス 3：リサーチマインド

コンピテンシー：3-3

コンピテンス 4：歯科医学および関連領域の知識

コンピテンシー：4-2, 4-3, 4-4, 4-5, 4-6, 4-7, 4-8, 4-9, 4-10

コンピテンス 5：医療の実践

コンピテンシー：5-1, 5-2, 5-3, 5-4, 5-5, 5-6, 5-7, 5-8, 5-9, 5-10

コンピテンス 7：地域社会への貢献

コンピテンシー：7-1, 7-2, 7-3, 7-4

対応するディプロマ・ポリシー：DP1, DP2, DP3, DP4, DP5, DP7

◆準備学習(予習・復習)

外部講師による総括講義内容を十分に理解できるよう、歯科学統合演習Ⅵa, Ⅵb および症例演習で履修した内容を確認し、歯科基礎および臨床科目の復習を十分に行っておくこと。

歯科医師国家試験問題集を学修しておくこと。

◆準備学習時間

授業時間の 2 倍相当を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

歯科基礎医学， 歯科臨床医学， 社会歯科医学および臨床実地科目。

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
		10.27 ～ 1.31	1 ～ 8	歯科基礎医学， 歯科臨床医学， 社会歯科医学および臨床実地科目	歯科医師国家試験の必修， 一般問題および臨床実地問題に対応できる総合的な知識を身に付ける。		歯学教育モデル・コア・カリキュラム (平成 28 年度改訂版) の各科目の内容を参照のこと